

2023年9月29日

BP キャピタル株式会社

「のとSDGsファンド」による投資実行について

BP キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 松多 洋一郎）は、株式会社 QR インベストメント（本社：石川県金沢市、代表取締役 浜野 文雄）と共同で設立した奥能登SDGs投資事業有限責任組合（以下「のとSDGsファンド」）より、株式会社笑農和（本社：富山県滑川市、代表取締役：下村 豪徳）に投資実行したことをお知らせいたします。

当社は当ファンドを通じて、地域社会をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

◆株式会社笑農和について

「IT 農業を通じて笑顔の人の和を創り社会に貢献する」を企業理念とし、水稻栽培において最も作業時間のかかる水管理の DX 化、超省力化を支援する『paditch（パディッチ）』を主力製品として開発・販売を行っている。

paditch は、スマートフォン・タブレット・PC 等と水田の水門やバルブを IoT で繋ぎ、事務所や自宅から、もしくは外出中でも遠隔で水位・水温の確認や開閉作業を行うことができるシステムである。また、データドリブンによる 24 時間自動開閉も可能であり、温暖化で水不足が叫ばれる中、収量および品質の UP に貢献している。

今後は水田由来のカーボンクレジット(排出権)販売の取り組みを開始する。

商号	株式会社笑農和
代表取締役	下村 豪徳
本社所在地	富山県滑川市上小泉 1797-1
事業内容	スマート水田サービス「paditch」の開発・運営
ホームページ	https://enowa.jp/



◆出資の背景について

農業における大きな課題の解決に資するプロダクトを提供しており、特に稲作農家にとってなくてはならない存在になると考えています。今後開始する脱炭素社会に向けた取り組みも大いに期待しています。当社のプロダクトが世界中の稲作現場で導入され、そして多くの社会課題を解決する未来とともに創ってまいります。

◆のとSDGsファンドについて

本ファンドでは、内閣府の『SDGs 未来都市』に選ばれた珠洲市をはじめとした能登地域を中心に地域の資産・資源を有効利活用した持続可能なビジネスの創出および SDGs に資する事業を行う企業を支援するモデルを創り、社会変革の実現と SDGs 達成に向けた最初の一步を能登地域から踏み出すことを目指しております。

名称	奥能登 SDGs 投資事業有限責任組合（略称：のと SDGs ファンド）
設立	2021 年 7 月 26 日
出資者	無限責任組合員（GP）： 株式会社 QR インベストメント BP キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）： 株式会社北國銀行 アステナホールディングス株式会社 興能信用金庫 のと共栄信用金庫
存続期間	10 年（但し、合意により 2 年間の延長可能）
投資対象	➤ 能登地域の SDGs 達成に資する事業を行う、日本国内に本店を置く非上場の株式会社 ➤ スタートアップ企業の場合、シード（プレシード含む）からレイターまで全ステージが対象
特長	➤ 持続的な環境・社会・経済を維持するために必要な事業を展開する企業の成長・承継・再生を支援 ➤ コンサルティングも含めた幅広い支援において北國銀行グループと連携 ➤ 現地企業等が必要とする知見や技術を有する様々な企業とのコラボレーション